

## ▶ 第7章

# 中国におけるデジタルプラットフォーム ——規制強化の背景とその影響

対外経済貿易大学 国際経済研究院 教授

西村 友作

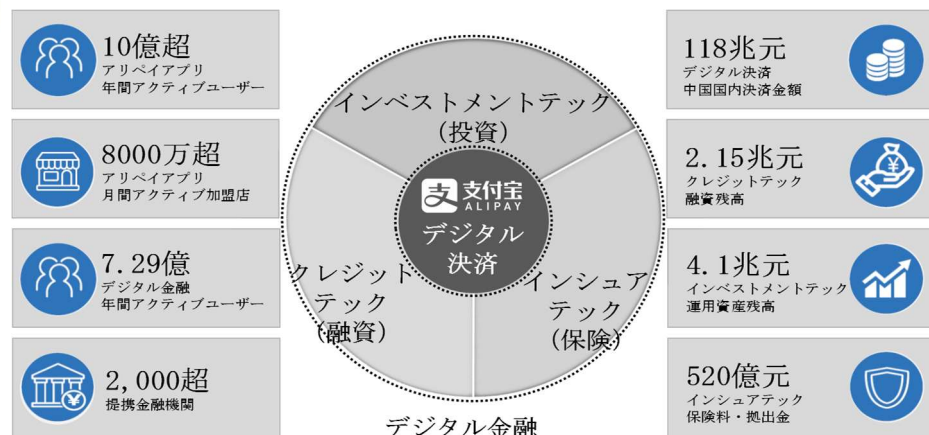
### 【ポイント】

- ▶ 中国最大のデジタルプラットフォーム（PF）「アント・グループ」のビジネスモデルの実態が、2020年8月に公開された上場目論見書によって明らかとなった。アントの主な収益源は、祖業の決済から、ビッグデータとAIを活用したデジタル金融事業、特に、消費者・零細企業向け小口融資事業へと転換している。
- ▶ アントの小口融資の殆どは、外部資金を利用することで信用リスクを他の金融機関に転嫁している。当初は資産担保証券を発行し資金を調達していたが、規制強化を受け、提携金融機関との「連合融資」に調達先をシフトし融資規模を拡大させてきた。このような「規制アービトラージ（規制逃れ）」を問題視した金融規制当局は、アントを念頭に置いた規制を矢継ぎ早に公表している。
- ▶ PFが生み出すイノベーションが、経済成長の大きな原動力となり、中国社会に山積する問題を解決してきた。過度な規制強化は、PFのみならず、企業・消費者、金融機関など幅広いセクターにまで影響を及ぼし、中国経済の減速をもたらすリスクとなり得る。発展と規制のバランスが極めて重要となっている。



注目データ

### アント・プラットフォームの基本情報



資料：アント・グループ上場目論見書を基に作成

注：2020年6月30日時点のデータを使用